

滄水会 ニュース

滄水会ニュース 第33号 発行：2023年7月 発行者：滄水会会長 小路幸市郎
 編集委員：藤野栄一、遠藤雅樹、中島均、齋藤誠二、池田知純、藤田紀勝、船木裕之、
 大川正洋、貴志浩久、新家寿健、秋葉将和、平原英明、佐畑友哉、室伏竜之介
 〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1 職業能力開発総合大学校校内 滄水会事務局
 E-mail : sousuikai@uitec.ac.jp

【TOPICS】

■ 小路会長からのご挨拶	1
■ 令和4年度卒業式・滄水会賞授与式	2
受賞者から喜びの声：建築専攻 依田祐樹さん	
■ 小路会長らによる特別講義	3
■ 会員訪問	4
■ 全国の支部設立へ向けた取り組み	5
■ 通常総会のご案内	6
■ 職業大の今：技能分析スタジオの設立について	7
■ 卒業生の就職先と学生募集について	8
■ 事務局だより	8

小路会長からのご挨拶

私は滄水会に関わって15年目（副会長3期9年間、会長2期6年）となります。最初のお手伝いは行政担当大臣への陳情の鞆持ちと書記でした。その時の母校は、行革の対象となって存続の危機の中にありました。母校愛に溢れた先輩方の頑張りなどによって、閣議決定で存続拡大となったのです。ところが、政権が民主党へと代わり、母校は存続縮小、相模原キャンパスは廃止となり現在の小川へと戻ったことは皆さんの知るところです。

母校を永遠に存続させるためには大学のプレゼンスを上げ、力を付けなければなりません。その役割は同窓会である滄水会にもあり、我々が強く繋がり、社会で活躍する必要があると私は思うのです。コロナは滄水会活動へも制限を与えましたが、サイバー空間の活用推進を早めました。滄水会の総会はオンライン上での開催となり、アメリカからの会員の参加も実現しました。更に滄水会ホームページもコロナ禍で進化しています。

滄水会には2つの大きな役割が存在すると私は考えています。1つは会員同士の繋がりを強めることであり、もう1つは在校生を含めた後輩たちへの最大のサポーター役であるということです。7月1日には、九州支部の懇親会が福岡県の北九州市で開催されました。この企画は、滄水会本部がスタートから関わりました。当日は私も含め、副会長の4名（秦、垣本、林、藤野）、理事数名が参加しました。是非、会員紹介ブログにて当日の様子をご覧ください。今回をきっかけに、他地域の開催企画へと繋がり広げて欲しいと思っています。

また、在校生への支援の1つとして、（新野校長発案の）大学から依頼された特別講義「学生時代に身につけたいコミュニケーション力という技能」（小路、秦、垣本の3人のパネラー、藤野コーディネーター）を行いました。今年も同様の特別講義を行うこととなっています。コロナも明けた今、滄水会の会員同士が繋がり広がることを若い発想を加えて企画していく所存です。よろしくごお願い申し上げます。



滄水会会長 小路幸市郎
 （電気17期）
 サイエンスパーク株式会社
 代表取締役

滄水会会長 小路幸市郎(電気17期)

令和4年度卒業式・滄水会賞授与式

令和5年3月17日（金）ルネこだいらにて令和4年度職業能力開発総合大学校卒業式及び第28回滄水会賞授与式が執り行われました。新型コロナウイルスにおけるマスクの取り扱いが緩和され、卒業生はマスクを着用しないことを基本として実施されました。滄水会賞授与式では、林副会長より将来、社会において大いに貢献が期待される卒業生5名に「滄水会賞」が授与されました。受賞者のみならず、すべての卒業・修了生のご活躍と社会への貢献を、滄水会会員一同心より祈念しております。

【受賞者から喜びの声】 総合課程 建築専攻 依田祐樹（よだゆうき）

この度は、滄水会賞という大変名誉ある賞を受賞させていただき、光栄に思っております。

私が滄水会賞を受賞できたのは、いつも熱心に指導してくださった先生方と、共に助け合いながら成長してきた建築専攻の仲間の助力があったからこそだと考えております。職業大では専門的な知識を学び、豊富な実習による学習を通して建築現場で必要とされる技能・技術も習得することができました。このような学習環境は職業大ならではの貴重なものであると感じました。職業大で学んだ知識・技能・技術は、これから社会に踏み出す私達にとって大きな糧となると思います。

私は、4月に大和ハウス工業株式会社に就職いたしました。職業大で学んだ経験を活かし、職業大出身であるというアイデンティティーを持ちながらこれからの建築業界をリードできる人材になれるよう精進いたします。これからも日々勉学に励み、研鑽を重ねてまいります。今後も暖かい目で見守って頂けたら幸いです。この度は、大変名誉ある賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。



機械専攻
平綿雅弘さん

電気専攻
竹花啓汰さん

電子情報専攻
佐藤淳哉さん

林文男
副会長

電子情報専攻
高森勇佑さん

建築専攻
依田祐樹さん

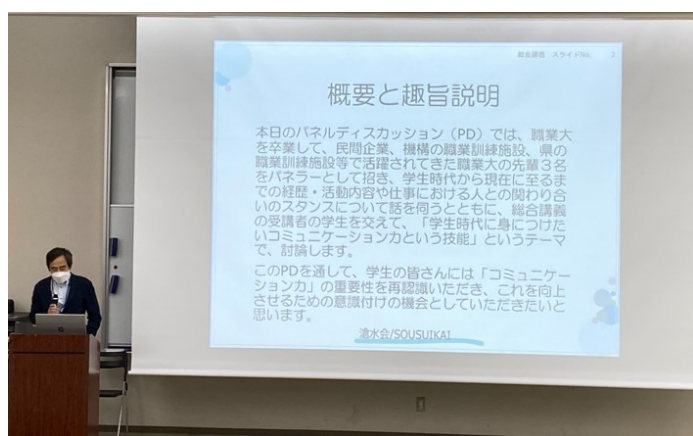
藤野栄一
副会長

小路会長らによる特別講義

2022年10月6日(木) 職業大にて、小路会長・秦副会長・垣本副会長の3名が、総合課程2年生を対象とした必修科目「総合講義」の一コマとして特別講義を担当しました。この取り組みは、職業大 新野校長から依頼され実現されたものです。総合講義は、広い一般教養を形成することを目的として、科学・技術および人文社会科学の様々な分野にわたり、専門の学識を踏まえながら専門外の人にも関心を持ってもらえるような内容をオムニバス形式で行う授業科目になります。

講義当日は藤野副会長の司会により、小路会長・秦副会長・垣本副会長に「学生時代に身につけたいコミュニケーション力という技能」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

講義の中では、会長・副会長の学生時代から現在に至るまでの人との関わり方を講演いただきました。学生からの反応も上々で、学生時代からのコミュニケーションが将来につながることを感じて学んでくれたのではないかと思います。新野校長から、今後も滄水会には、職業大を支援していただきたい旨の要望がありましたことをこの場をお借りしてご報告いたします。



新野校長による特別講義の趣旨説明



コミュニケーションの重要性について説明する小路会長
(左から藤野副会長、小路会長、秦副会長)



質問に回答する垣本副会長
(左から秦副会長、垣本副会長)



受講した学生の様子(学生達は、真剣に聞いていました)

会員訪問

近年、小路会長を中心として、会員訪問を実施しております。今回は会員紹介ブログから3件ご紹介させていただきます。

1件目は、小路会長による、廖振宇さん（塑性21期）と衛建平さん（電気21期）への訪問です。お二人は国費留学生として相模原の訓大に4年間留学されておりました。廖さんをご卒業後、東工大の大学院を経て渡米し、サンフランシスコの郊外で起業しております。衛さんは、中国に帰国後、国家機関で働き、現在は米IT企業に勤務しております。（2021年11月訪問）

2件目は、小路会長による松尾さん（建築18期）への訪問です。松尾さんが勤務する大分県立工科短期大学校は、多くの会員が在籍し、臺さん（塑性加工21期）は校長先生として活躍しております。大分県立工科短期大学校は、学生が来校者に挨拶をきちりできるなど良い文化が定着しているそうです。（2021年12月訪問）

3件目は、藤田理事（電子工学31期）が訪問された馬場さん（塗装5期）です。藤田理事が馬場さんを訪問したきっかけは、「滄水会名簿（令和3年発行）」の賛助公告に「後輩の方々！！事前連絡してお越し下さい。歓迎します。」のメッセージだったそうです。

馬場さんは、機構を定年退職した後、熊本県に住まわれております。藤田理事が行ったインタビューでは、小平キャンパスでの思い出、職業大、滄水会への思いを語ってくださっております。（2022年4月訪問）

3件の訪問記録の詳細については、滄水会ブログ（会員紹介ブログ）をご覧ください。

会員紹介ブログ：

URL：<https://ptusousuikai.blog.fc2.com/>

閲覧パスワード：sousuikai



～廖さん、衛さん訪問～

左から廖さん（塑性21期）、衛さん（電気21期）、廖さんのご息様、廖さんの奥様、廖さんのご息女様、小路会長



～大分県立工科短期大学校訪問～

左から十河さん（生機工学30期）、小路会長、松尾さん（建築18期）、野中さん（電子16期）、小南さん（機械10期）



～馬場さん訪問～

左から馬場さんの奥様、馬場さん（塗装5期）、藤田理事（電子工学31期）

全国の支部設立へ向けた取り組み

組織および企画部門では、各地にお住まいの会員の皆様が集える場を設けるために、全国に滄水会支部を設立する取り組みを開始しました。まずは、規約、規則、支部費等のない軽い支部の設立から始め、徐々に全国、いずれば海外まで広げたいと考えています。

この取り組みの第一歩として、昨年、九州支部（九州・沖縄）の設立を行いました。代表世話役には、九州・沖縄地区の中からお力添えいただける方を公募し、西方宏志氏（第二電気 11 期）が選出されました。また、支部の運営にあたり 8 名の方が地域世話役として選出されました。7 月 1 日には、福岡県北九州市の小倉リーセントホテル（JR 西小倉駅から徒歩 5 分）で第 1 回九州支部交流会が開催され、多数の会員にご参加いただきました。当日の様子につきましては、会員紹介ブログをご覧ください。

会員紹介ブログ：URL：<https://ptusousuikai.blog.fc2.com/> 閲覧パスワード：

支部設立の進め方および運営につきましては、以下の手順をご参照ください。「自分の地区にも支部を設立したい！」とお考えの会員の方がおられましたら、まずは滄水会事務局（sousuikai@uitec.ac.jp）までお気軽にご相談ください。

【支部の設立手順】

1. 支部設立の申請

発起人が滄水会事務局に申請してください。事前にご相談いただければ幸いです。

2. 支部設立の承認

滄水会理事会の審議により設立を決定します。

3. 支部の世話役の公募

各地区の中から代表世話役、地域世話役を公募します。支部設立当初の公募は滄水会事務局で行います。

【支部の運営について】

1. 支部総会の開催

新たに選任された代表世話役のもと、支部総会を開催してください。

2. 支部活動および報告

活動情報（交流会等）を滄水会事務局にご報告いただければ、滄水会 HP 等で紹介します。

3. 次年度の世話役の公募

次年度の代表世話役、地域世話役を公募してください（再任可）。公募は支部に一任します。

通常総会のご案内

滄水会通常総会開催の年となりました。総会を下記の要領にて開催させていただきたくご案内申し上げます。今回の通常総会は、職業能力開発総合大学校 3号館 階段教室での対面形式および Web によるオンライン参加も可能なハイブリッド形式として開催いたします。会員の皆様方におかれましては、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最新の開催情報は、随時、滄水会 HP (<https://www.sousuikai.net/>) を通して、お知らせしますので、ご確認をお願いいたします。

日時 2023年10月7日(土) 11:00~12:00

場所 職業能力開発総合大学校 3号館 階段教室

・Web参加方法：滄水会 HP (<https://www.sousuikai.net/>) 会員ページに、
ユーザー名： 、パスワード： でログイン後に表示される総会情報
をご参照ください。



滄水会 HP

- ・役員選挙投票方法：会場での直接投票および Web 投票
- ・通常総会までのスケジュール：下表のとおりとし、随時、滄水会 HP に情報更新をいたします。

時期	滄水会 理事会	会員の皆様
2023年 7月中旬	・ 滄水会ニュースで通常総会開催方法および役員改選告示を提示	・ 役員立候補者の受付開始
2023年 8月31日 締切		・ Web または、はがきによる委任状提出  委任状 Web 提出先
2023年 9月上旬	・ 委任状集計 ・ 選挙管理委員の選出（理事会が指名）	
2023年 9月30日 締切		・ 役員立候補者の締切
2023年 10月7日 通常総会	・ 職業大にて通常総会開催 ・ 選挙管理委員により役員選挙投票結果の集計および結果公表	・ 対面または Web による参加 * 役員選挙 (Web フォーム) は総会でご案内
2023年 10月下旬	・ 通常総会の議事公開	

本総会では、会則 12 条および選挙に関する細則に則り、役員（会長、副会長、理事、会計監事）の改選を行います。次期役員（任期 3 年）に立候補する会員は、役職名を明記の上 9 月 30 日（土）（必着）までに書留にて滄水会事務局へ送付してください。

職業大の今：技能分析スタジオの設立について

職業大では、長年、技能に着目した研究テーマに取り組んできました。具体的には、古川勇二 職業大元校長の元で「身体性認知科学に基づくフライス加工技能の修得・伝承モデルの構築」という科研費テーマで研究が実施され、現在でも、不破輝彦教授によって研究内容は継承されております。他には、菊池拓男教授が技能五輪国際大会に出場するものづくりアスリート（熟練技能者）の動作解析から得られた知見から科学的なトレーニング法の開発に取り組んでおり、筆者らは、西口光太郎氏（北海道能開大 建築 53 期）、片岡遥氏（ポリテクセンター鹿児島 建築 55 期）と協働で建築大工技能の効率的な指導方法の確立を目指した研究に取り組んでいます。

これまで職業大で取り組んできた技能に関するテーマを、圓川隆夫 職業大前校長が「技能科学」と名付けられ、「技能科学」の研究分野の確立と「技能科学」を通じた職業大の認知度向上に取り組む、現在、新野秀憲 職業大校長の下で、技能科学の確立に「職業能力開発に関する学理の究明と応用」¹⁾を加えて、職業訓練指導員の養成を実施しております。

技能科学に関するテーマをさらに進展させ、技術革新に対応できる職業訓練技法を開発できる職業訓練指導員を養成²⁾するために、令和 4 年度末に職業大に技能分析スタジオ（略称 SAS : Skill Analysing Studio）が整備されました（写真 1）。

SAS は、光学式モーションキャプチャー 16 台、視線解析装置、床反力計、筋電計、指圧測定装置などで構成されており、ものづくり作業の動作解析に一般的に必要なと思われる機器が揃っています。少し、具体的に書くと、①光学式モーションキャプチャーでものづくり作業の動作を測定し、②視線解析装置でものづくり作業中の視線を測定することが可能です。また、③床反力計で作業時の重心を測定し、④筋電計で作業に用いている筋肉を特定することができます。また、①～④のデータは、同期可能であり作業のカン・コツを見える化することが可能です。

写真 2 は、SAS のモーションキャプチャー、視線解析装置を用いて、菊池教授が技能五輪国際大会情報ネットワーク施工職種の金メダリストを動作解析したときの様子です。動作と視線、筋電を同時に測定しています。他には、SAS を活用して、令和 5 年度から 3 年間の期間を設けて、職業大基盤整備センターで「技能のカン・コツを見える化したデジタル教材及び訓練手法の開発」に取り組む予定です。

滄水会会員の皆様の中にも、人材不足、技能継承問題に取り組まれておられる方々が多いと思います。全国の職業能力開発施設、ものづくりに携わっておられる滄水会会員の皆様にご支援を頂きながら、今後も技能を科学し、職業訓練指導員の養成、研修に邁進して行きたいと考えております。是非、職業大のお近くに来られましたら、SAS をご見学いただければと思います。お待ち申し上げます。

塚崎英世（建築 35 期）



写真 1 SAS 外観

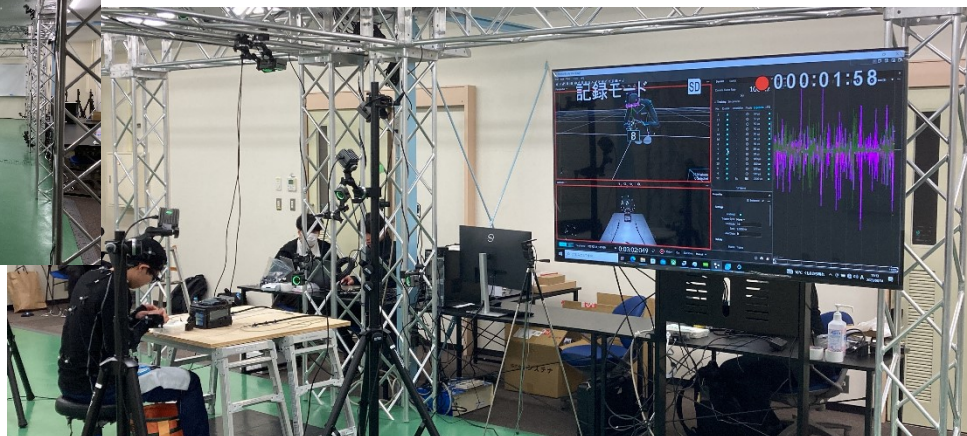


写真 2 SAS を用いた実験の様子
（菊池拓男教授が実施した情報ネットワーク施工職種
技能五輪国際大会金メダリストの動作解析・視線解析）

1) 技能と技術： <https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/files/data/202202/20220201/20220201.pdf>（2023.4.11 閲覧）

2) 塚崎、船木：技術革新に対応できる職業訓練指導員の養成、電気設備学会誌、pp.571-574,2022

卒業生の就職先と学生募集について

令和4年度総合課程卒業生の就職先（民間企業／公的機関）

機械専攻

●民間企業

墨田川造船(株)、東芝三菱電機産業システム(株)、(株)トップエンジニアリング、北海道旅客鉄道(株)、三菱電機プラントエンジニアリング(株)

●公的機関

富山県、京都府、岡山県、海上保安庁(海上保安学校)、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構

電子情報専攻

●民間企業

(株)ISIDインターテクノロジー、(株)Ajastate、(株)OSK、(株)コトキソリューション、ダイキンエアテクノ(株)、日本コムシス(株)、富士ソフト(株)、フューチャーインスペース(株)、(株)メイテック

●公的機関

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構

電気専攻

●民間企業

九州電力(株)、(株)きんでん、スズキ(株)、(株)電力テクノシステムズ、東京パワーテクノロジー(株)、東芝三菱電機産業システム(株)、(株)マイスターエンジニアリング、三菱電機プラントエンジニアリング(株)、(株)明電舎

●公的機関

財務省、群馬県、東京都、愛知県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構

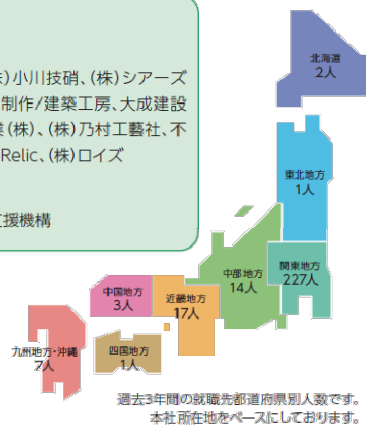
建築専攻

●民間企業

石黒建設(株)、(株)一条工務店、(株)小川技研、(株)シアーズホーム、(株)スマイルタイム、設計+制作/建築工房、大成建設(株)、大和ハウス工業(株)、坪井工業(株)、(株)乃村工藝社、不二建設(株)、ボラス(株)、空創社、(株)Relic、(株)ロイズ

●公的機関

千葉県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構



令和2年度卒業生から卒業と同時に職業訓練指導員免許が取得できるようになり、(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構はもとより、ほぼ全県から指導員採用求人をしていただくようになりました。(都道府県からの求人数は令和4年度52名)

総合課程学生募集パンフレット2024も完成しました。興味本位でも構いませんので、是非お問い合わせください。また、お知り合いの方でもものづくりに興味がある方がいらっしゃいましたら、ご紹介をお願いします。



学生募集HP

職業能力開発総合大学校 学生課 坂尾（塗装28期）、山田（情報工学34期）

事務局だより

●住所変更等のお願い

会員の皆様の住所変更等がございましたら、滄水会 HPにてお手続きの実施をお願いいたします。ご不明な点がございましたら、事務局（FAX 042-346-7879 または、E-mail : sousuikai@uitech.ac.jp）までお問い合わせ下さい。

●終身会費

滄水会では、会の存続及び発展のために、2022年度の卒業生より卒業時に納入頂く終身会費を2万円に変更させて頂きました。それに伴い、それ以前の卒業生に60歳の時期に追加の終身会費（1万円）の納入をお願いすることとさせて頂きました。卒業年度が1983年度以前の卒業生におかれまして、まだ、60歳の追加の終身会費を後納付頂いていないようでしたら、滄水会の発展のため、追加の終身会費（1万円）を下記口座までお払込みくださいますようお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行もしくは郵便局から払込をする場合

記号番号：振替：00150-3 番号：45350 口座名：滄水会

ゆうちょ銀行以外の金融機関から払込をする場合

銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇一九店（ゼロイチキュウ）口座種類：当座 口座番号：0045350

口座名義：ソウスイカイ

●維持寄付のお願い

滄水会では全会員の皆様に維持寄付（一口：5000円）をお願いしております。是非、滄水会の発展のため、令和5年度の滄水会ニュースに同封いたしました払込用紙を用いてお払込みいただくか、もしくは下記口座までご寄付をお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行もしくは郵便局から払込をする場合 記号番号：振替：00250-2 番号：56972 口座名：滄水会

ゆうちょ銀行以外の金融機関から払込をする場合 銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇二九店（ゼロニキュウ）

口座種類：当座 口座番号：0056972 口座名義：ソウスイカイ

●寄稿

会員の皆様には、同期会や支部会などがございましたら、開催情報の告知や活動をご寄稿願います。また、滄水会ニュース全般に関するご意見、ご感想、ご提案などを事務局（E-mail : sousuikai@uitech.ac.jp）までお寄せくださいますようお願い申し上げます。